

青梅市子ども読書活動推進事業

ゆとり作家のひとり言

長谷川まりる氏講演会

青梅出身の児童文学作家である長谷川まりる氏に、作家になったきっかけや本の制作秘話を、自身で手掛ける挿絵のお話も交えて語っていただきます。

また特別企画として、青梅在住の児童文学作家、にしがきようこ氏をゲストにお迎えして対談を行います。プライベートでも親交があるお二人の対談にも注目です！

▼日時

2023年11月18日(土)

14:00～16:00 (開場 13:45)

●書籍販売・サイン会予定

会場：青梅市中央図書館 多目的室

定員：60名 (先着・申込制) 入場無料

対象：小学生高学年以上・一般の方

申込：10月19日(木)9:00から電話受付

問合せ：青梅市中央図書館 Tel.0428-

22-6543

【プロフィール】長谷川まりる (はせがわ まりる)

1989年、長野県生まれ。21歳まで青梅で暮らす。

職業能力開発総合大学校東京校産業デザイン科卒。創作同人会「駒草」所属。2018年『お絵かき禁止の国』(講談社)で第59回講談社児童文学新人賞佳作を受賞、同作でデビュー。2022年『かすみ川の人魚』(講談社)で第55回日本児童文学者協会新人賞受賞。著書に『満天 in サマラファーム』(講談社)、『杉森くんを殺すには』(くもん出版)など



特別企画 対談『作家のふたり言』

ゲスト にしがき ようこ氏

愛知県名古屋生まれ。青梅市在住。

2009年『ピアチェーレ 風の歌声』(小峰書店)で第8回日本児童文学者協会・長編児童文学新人賞を受賞。2010年にデビュー。2011年、同作で第21回椋鳩十児童文学賞受賞。2016年『川床にえくぼが三つ』(小学館)で第65回小学館児童出版文化賞受賞。著書に『おれのミューズ!』(小学館)、『ぼくたちのP』(小学館)、『イカル荘へようこそ』(PHP研究所)など





行事報告



一日図書館長イベント

9月9日(土)に、一日図書館長のイベントを行いました。今年度の学校連携推進重点校である、第五小学校の5~6年生から計4名の児童が一日図書館長に選出されました。

当日は、教育委員会から一日図書館長の任命を受け、図書館業務のカウンター返却処理、本を棚に戻す作業など積極的に行いました。また、その様子を多摩ケーブルネットワークに取材していただきました。



夏休み工作教室

8月9日(水)と8月10日(木)に、市内在住の小学生を対象とした「折り染め和紙でつくるランプシェード」のイベントを行いました。参加した小学生が自分で半紙を染めて世界に一つだけの模様を作り、素敵なランプシェードを完成させました。真剣な表情で作業していたこどもたちも、作品が完成すると笑顔になっていてとても良い思い出になったようです。



中央図書館の4階には、青梅市や他の自治体に関する「地域行政資料」や地域の歴史をテーマとした「郷土資料」の他に、調べ物に使う「参考図書」を所蔵しています。

2階の新聞・雑誌、視聴覚資料や3階の一般書、児童書に比べて、手に取っていただく機会の少ない参考図書をご紹介します。

「さまざまな白書」

「白書」とは中央官庁が編集する政府刊行物であり、政治、経済、社会の実情や施策を国民に知らせるためのものです。この名前はもともとイギリス政府が外交報告書に白い表紙をつけたことにちなむもので、日本での最初の「白書」は1947年（昭和22）7月に片山哲内閣が発表した「経済実相報告書」（いまの「経済財政白書」）とされています。現在は50種類以上刊行されていますが、中央図書館にはそのうちの40種類ほどを所蔵しています。毎年夏から秋にかけて刊行されることが多く、今の時期に4階の参考図書新着コーナーにたくさん並びます。この白書ですが、省庁再編や根拠となる法律が変わることなどでタイトルが変わることが多く、また現在は廃刊になっているものもあるなど以前はあったはずの白書が見当たらないということもあります（例：厚生省の『厚生白書』、労働省の『労働白書』→厚生労働省の『厚生労働白書』）。お探しのときは気軽に図書館にお尋ねください。なお2015年（平成27）ごろから多くの白書がインターネットで公開されるようになっていきます。



青梅市図書館おすすめ資料

『同士少女よ、敵を撃て』

逢坂冬馬／著
早川書房

2021.11 913.6ア

所蔵：中央・青梅・長淵・大門・沢井
小曾木・成木・新町・今井

戦争が激化するソ連を舞台に、ドイツ軍に母を殺され村を焼かれた少女セラフィマは赤軍の女性兵士に命を助けられる。しかし、その女性兵士はセラフィマに「戦うか、死ぬか」の選択を迫る。多くの参考資料に裏打ちされた圧倒的な説得力から生まれる背景が物語をよりリアルに感じさせる作品です。

セラフィマの選択はもちろん、戦争という非日常がすべてを壊していくなか、誰もが必死に生きようともがく様にどんどん引きこまれていきます。

「アガサ・クリスティ賞大賞」「本屋大賞」など栄えある賞を受賞した作品、ぜひ読んでみてください。

『永遠と横道世之介』上・下

吉田修一／著
毎日新聞出版

2023.5 913.6ヨ

所蔵：中央・長淵・小曾木

愛すべき世之介が帰ってきました。「横道世之介」「横道世之介 続」に続く完結編です。

なんでもない日々の積み重ねが丁寧に描かれていて、普通の毎日がどれだけ大切かを痛感します。世之介がそこに居る事で周りの人たちが救われ元気になっていく。一作目から読んでいる人は結末が分かっていますが、読まずにはいられません。

“クスリ”としながらも涙が混ざる後半はぜひひとりっきりで読んでください。一作目の「横道世之介」は映像化されていて、図書館にはDVDの所蔵があります。興味のある方はこちらもぜひご覧ください。

咳エチケットにご協力ください



青梅市図書館カレンダー 令和5(2023)年10月~12月							
	日	月	火	水	木	金	土
10月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				
11月				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30		
12月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

*
○印は全館休館日

△ 中央図書館のみ 9:00~17:00開館

5		6	7	1			9
1					9	7	4
	4		2			1	5
	3	9	1	8			6
					7	8	2
4	7		3			9	5
					8	2	
		1	9				
8	9				1	6	4
							7

図書館ナンプレ

- 【1】どのタテ列にも1~9の数字が1個ずつ入ります
- 【2】どのヨコ列にも1~9の数字が1個ずつ入ります
- 【3】区切られた3×3のブロックに1~9の数字が1個ずつ入ります

1	2	5	8	4	7	9	6	3
3	9	4	6	2	5	1	7	8
7	6	8	1	3	9	4	2	5
4	8	1	2	5	6	7	3	9
2	7	9	3	8	4	5	1	6
6	5	3	9	7	1	8	4	2
9	1	2	7	6	8	3	5	4
8	4	6	5	1	3	2	9	7
5	3	7	4	9	2	6	8	1

101号の答え

今後の主な行事予定(中央図書館)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため青梅市図書館で開催するイベントについては、今後の状況により変更となる場合があります。詳しくは図書館ホームページ等でお知らせいたします。

3か月児~4歳児向けのおはなし会

☆おはなし会『絵本の森』：毎月第2土曜日 11:00~
対象：3か月児~4歳児と保護者
(会場：おはなしの部屋 定員：30名)

☆ちっちゃいこのおはなし会：毎月第4日曜日 11:00~
対象：3か月児~4歳児と保護者
(会場：おはなしの部屋 定員：15組)

☆ひとりじめおはなし会：毎月第1・3日曜日
①11:00~ ②11:20~ ③11:40~
対象：3か月児~未就学児と保護者
(会場：おはなしの部屋 先着1組)

4歳児以上のおはなし会

☆おはなし会：毎月第4土曜日 11:00~
対象：4歳児以上
☆おはなしにちよピーナッツ：毎月第2日曜日 11:00~
対象：4歳児以上
(会場：おはなしの部屋 定員：30名)
☆…直接会場へお越しください…☆

○中央図書館映画会 第4日曜日 14:00~
10月22日(日)「自転車泥棒」
(会場：多目的室 定員：60名)

◆中央図書館3階展示

「知ってる!?知らない?? THE☆文学賞」
9月21日(木)~11月19日(日)
(会場：中央図書館3階特設展示コーナー)

◆ティーンズコーナー展示

「エモとはなんぞ?」
8月16日(水)~10月15日(日)
(会場：中央図書館3階ティーンズコーナー)

◇青梅市子ども読書活動推進事業 長谷川まりる氏講演会

『ゆとり作家のひとり言』特別企画 対談『作家のふたり言』
11月18日(土) 14:00~16:00
申込み：10月19日(木) 9時から電話受付
(会場：多目的室 先着・申込制 定員：60名)